



2020年6月30日

各位

会社名 サンデンホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役 社長執行役員 西勝也
 (コード番号 6444 東証第一部)
 問合せ先 取締役 執行役員 財務経理本部長 秋間 透
 TEL(03)5209-3341

業績予想値と決算値との差異及び営業外費用並びに特別損失の計上に関するお知らせ

2019年11月6日に公表しました2020年3月期連結業績予想と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします

記

1. 2020年3月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 215,000	百万円 500	百万円 △4,000	百万円 9,000	円 銭 324.92
実績値(B)	204,880	△3,401	△9,735	2,287	82.54
増減額(B-A)	△10,120	△3,901	△5,735	△6,713	
増減率(%)	△4.7%	—	—	△74.6%	
(ご参考)前年実績 (2019年3月期)	273,934	889	564	△23,060	△833.58

2. 差異の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い欧州やインド、中国における顧客及び当社工場のシャットダウンによる急激な販売減や車両販売事業の株式譲渡に伴う連結範囲の変更等により減収となりました。

営業利益につきましては、構造改革による費用の見直しは順調に推移しましたが、急激な販売減の影響、及びそれに伴うグローバルベースでの調達価格低減施策の未達等もあり、予想を下回ることとなりました。

経常利益につきましては、上記営業利益影響に加え、為替差損の計上及び持分法投資損益の減少により予想を下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、子会社株式の譲渡益等がありましたが、構造改革費用が増加したことで予想を下回ることとなりました。

3. 営業外費用の計上について

1) 営業外費用(為替差損)の計上

当社グループは、外国為替相場の変動に伴い、保有する外貨建資産・負債の為替評価替えにより、2020年3月期の連結財務諸表において、為替差損30億円を営業外費用に計上しております。

2) 営業外費用(貸倒引当金繰入)の計上(個別)

当社の一部の連結子会社に対する貸付金の回収に懸念が生じたため、2020年3月期の個別財務諸表において、貸倒引当金繰入額8億円を営業外費用に計上しております。

4. 特別損失の計上について

1) 特別損失(構造改革費用)の計上

当社及び連結子会社において早期割増退職金及び固定資産の減損損失等を計上することとなったため、134億円の構造改革費用を計上しております。

2) 特別損失(関係会社支援損)の内容(個別)

当社の一部の連結子会社の純資産の健全化をするため、同社に対する貸付金について、債務免除を行ったため、2020年3月期の個別財務諸表において、関係会社支援損170億円を特別損失に計上しております。

5. 連結業績に与える影響

上記の連結子会社に対する貸倒引当金繰入及び関係会社支援損は、連結財務諸表においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以上